



東濃加治田

海

特別
A5
6673
38
早稲田大学図書館



明和九年天



如月申日市所送を喜信
信り、録のまに書くふり
申ふたゝお物の時分、ねま
まのふり、まのさふり、
しふ、まの、まの、まの、

あはれなるものぞかし

あはれ

紅梅をあらわすに教かゝる

あはれなるものぞかし

清きく物なるはほかに

梅のふりたは小掃く

山の端は月細く照らす

空のかりそへさ清く

女房へえ侍を引あはせ

小あはれなる丸を所

村をふるふ茶をく

小あはれなるものぞかし

宮よりてまゝにむすむおとす
あき 素女

世よりてまゝにむすむおとす
下布

三
まじりてまゝにむすむおとす
素陽

まじりてまゝにむすむおとす
白地

何れもまゝにむすむおとす
巴山

大和引おとすまゝにむすむ
有陸

投やう小まゝにむすむおとす
素女

投やう小まゝにむすむおとす
白布

投やう小まゝにむすむおとす
素女

投やう小まゝにむすむおとす
巴流

中程分刊一巻

天竺山

標題

繁くは 巴の山を 登りて 望む

茶の湯 汲みて 飲むに 宜し

山に 雲を 巻きて 居る

道は 遠く ありて 人の 来り

山正坊

伊尾

有故

下川邊

溪雲

故年

素入

鳥石小 苔小 草の 匂

まじり ぬき ぬき ぬき ぬき ぬき

まじり ぬき ぬき ぬき ぬき ぬき

まじり ぬき ぬき ぬき ぬき ぬき

まじり ぬき ぬき ぬき ぬき ぬき

まじり ぬき ぬき ぬき ぬき ぬき

山方

初春

兼山

春陽

川邊

雲江

木田

史中

園

茶室

江州松雲

巴流

しるしのあはれいふさるるむねに
伊与松山 氏家

三月廿六日
松が 芽子

まはるやあつらふふれは
たは

梅柳と宮にふくし候 月 吾は

あはれや小鳥屋にひきつるの家 有蹟

森の中よふ小あはれは
乍布

あはれいふさるるむねに
松の 氏家

三月廿六日
松の 芽子

まはるやあつらふふれは
たは

梅柳と宮にふくし候 月 吾は

あはれや小鳥屋にひきつるの家 有蹟

森の中よふ小あはれは
乍布

行々々々々々々々々々々々
其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其
其其其其其其其其其其

其其其其其其其其其其

